

2009年4～9月期

株主通信

2009年4月1日～2009年9月30日

2009年秋冬号

特集

すべての人に豊かで安心な暮らしを生涯学習講座・生活サポートサービス・
災害用伝言板サービスのご紹介**2009冬—2010春新機種****株主アンケート結果のご報告**

ソフトバンク株式会社

www.softbank.co.jp

株主通信

2009年秋冬号

株主通信 2009年秋冬号の見どころ

今回株主通信を全面的にリニューアルしました。分かりやすい業績報告や、ソフトバンクの今を伝える魅力ある記事の掲載を心掛け、株主の皆さまとのコミュニケーションツールとしての役割をさらに強化していきます。今号の特集では、豊かで安心な暮らしをサポートするために、ソフトバンクグループが行っている取り組みをご紹介します。

2009年4～9月期ビジネスハイライト

4月

サイバー大学、“サイバー大学エクステンションセンター「e-カレッジ」”を開講。一流講師陣の講義がインターネット経由で手軽に受けられる、生涯学習講座25科目を提供。

→ 8ページへ

5月

ソフトバンクモバイル、メールで届いたお笑い、スポーツ、芸能ニュースなどの動画コンテンツをかんたん楽しめるサービス「選べるかんたん動画」の本格提供を開始。

6月

ソフトバンクモバイル、最新の音楽情報を動画コンテンツで楽しめる新サービス「かんたんミュージック」の提供を開始。

今までで最も速く、パワフルなiPhone™(アイフォン)「iPhone 3GS」を全国で発売。

7月

ソフトバンクモバイルを含む携帯電話・PHS事業者5社、「災害用伝言板横断検索機能」を協力して開発し、2010年春をめどにサービスの提供を開始することを決定。

→ 9ページへ

8月

携帯電話端末の待ち受け画面に置いて、好みの情報へワンタッチでアクセスできるアプリケーションである「モバイルウィジェット」稼働端末台数が100万台を突破。新ブランドキャラクターとしてSMAPを起用したTV CMの放映を開始。

9月

ソフトバンクモバイル、ホワイトプラン基本料が最大で10カ月無料になる「のりかえ割」を開始。ソフトバンク携帯電話の累計契約数が2,000万件を突破。

CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 4 連結業績のご報告
- 6 セグメント別営業概況
- 8 特集
- 10 In Focus
- 11 株主アンケート結果のご報告
- 12 株主Q&A
- 13 会社概要

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

株主の皆さまへ

われわれが目指してきた「21世紀のライフスタイル」が、はっきりと目に見える形となってきました。ソフトバンクはこれからも、インターネットによって人々に豊かさを提供するとともに、持続的な成長を果たしていきます。

過去最高*1の決算

インターネットはPCから携帯電話を中心としたものになってゆく。これこそがインターネットカンパニーとして携帯電話事業に参入する最大の理由でした。そして、この事業がソフトバンクの中核となり今後の業績をけん引していくという自信を持ってボーダフォン日本法人を買収しました。いよいよこれが現実のものとなり、2009年4～9月期は営業利益、経常利益、当期純利益、フリーキャッシュフロー*2など、さまざまな点で過去最高を更新しました。

9つの「過去最高」決算（2009年4～9月期）

連結業績			(前年同期比)
EBITDA*3	6期連続	過去最高*1	+15%
営業利益	4期連続	過去最高*1	+28%
経常利益	4期連続	過去最高*1	+48%
当期純利益		過去最高*1	+72%
営業キャッシュフロー		過去最高*1	+78%
フリーキャッシュフロー*2		過去最高*1	+1,363%
主要事業の営業利益			
移動体通信事業		過去最高*1	+49%
固定事業*4	4期連続	過去最高*1	+26%
インターネット・カルチャー事業	9期連続	過去最高*1	+5%

*1. 当社が連結決算を開始した1995年3月期以降

*2. フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

*3. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費＋営業利益に含まれる固定資産除却損

*4. 固定事業＝ブロードバンド・インフラ事業＋固定通信事業

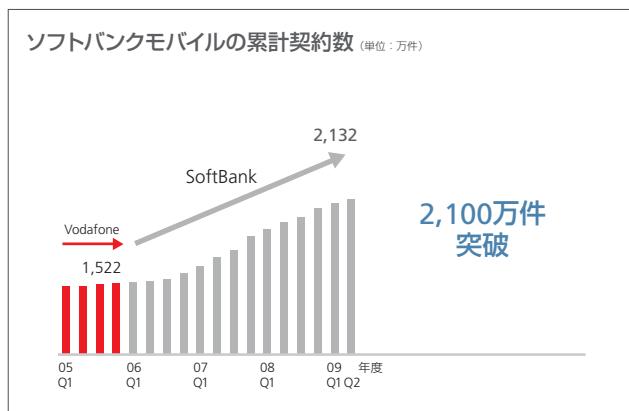
最高益を更新



フリーキャッシュフロー 1兆円*5への確信

好調な業績のけん引役となっている移動体通信事業では、モバイルインターネットに適した端末やコンテンツがわれわれの予想以上に浸透してきているほか、白戸家シリーズや、SMAPを起用した新しいTV CMが、CM好感度ランキングで上位を占めるなど、ブランド価値も向上しています。これらがわれわれの携帯電話事業の契約数にも表れ、ボーダフォン日本法人買収当時（2006年4月末）1,522万件だった契約数が、2009年9月には2,100万件を突破するまでに至りました。

また移動体通信事業だけでなく、ブロードバンド・インフラ事業や固定通信事業、ヤフーを中心としたインターネット・カルチャー事業においても先行投資の段階が過ぎ、順調に利益を創出する段階に入っています。



この結果、2009年4～9月期の連結フリーキャッシュフローは前年同期比で1,649億円増となる1,770億円となりました。これに伴い、2,500億円としていた2009年度通期のフリーキャッシュフロー予想を、3,000億円に上方修正しました。また、2009年度から2011年度までの3年間累計で合計1兆円前後としていた予想については、1兆円以上の創出を達成できると確信しました。

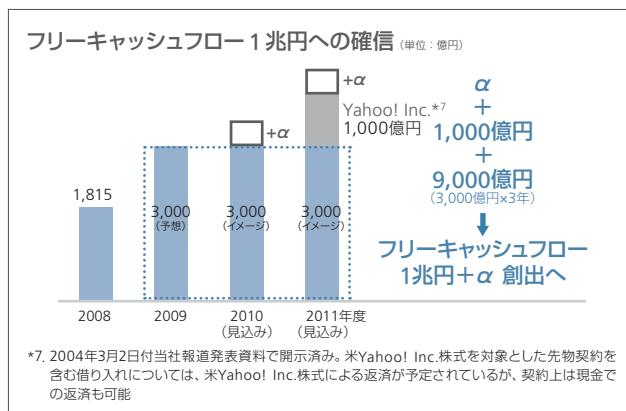
また、純有利子負債*6残高は、2009年9月末で1兆7,685億円となり、2008年9月末からの1年間で約3,000億円削減しました。フリーキャッシュフローを重視した経営をグループ全体でさらに強化していくことで、2008年度末に約1.9兆円であった純有利子負債を、2011年度に半分にまで削減、さらに2014年度にはゼロにすることを目標としています。

*5. 3年間累計目標

*6. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性

有利子負債：短期借入金＋コマースレバード＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金、リース債務を含まず

手元流動性：現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券



*7. 2004年3月2日付当社報道発表資料で開示済み。米Yahoo! Inc.株式を対象とした先物契約を含む借入れについては、米Yahoo! Inc.株式による返済が予定されているが、契約上は現金での返済も可能

21世紀のライフスタイル・カンパニーを目指して

ソフトバンクは、「モバイルインターネット」「アジアインターネット」の2つの領域でNo.1となることを長期的なビジョンとして、これからも企業価値の最大化に取り組んでいきます。

2009年には、モバイルインターネットをもっと楽しくするコンテンツサービスを相次いでスタートさせました。メールで届いた動画コンテンツを簡単に利用できるサービス「選べるかんたん動画」は2009年7月に100万契約を突破し好評を博しています。また、携帯電話端末の待ち受け画面に置いて、好みの情報へワンタッチでアクセスできるアプリケーションである「モバイルウィジェット」対応端末も拡充し、2009年8月には稼働台数が100万台を突破しました。

「アジアインターネットNo.1」を目指す上で欠かすことができない重要な市場である中国では、ネット人口をはじめとしたさまざまな指標で、世界最大規模になっています。この発展する中国市場で、最大規模のインターネットサービスを提供するアリババグループ、オークパシフィック、インタラクティブなどの有力企業との連携を深め、アジアインターネットNo.1の地位を一層確かなものにしていきます。

発展を続ける中国市場

名目GDP	5.3兆米ドル (2010年予想)	世界No.2
ネット人口	2.5億人 (2008年実績)	世界No.1
携帯利用者	6.1億人 (2008年実績)	世界No.1
外貨準備高	2.1兆米ドル (2009年6月末実績)	世界No.1
新車販売台数	606万台 (2009年4~9月期実績)	世界No.1

出所: 名目GDP	IMF [World Economic Outlook Database April 2009]
インターネット人口	Internet World Stats [WORLD INTERNET USAGE AND POPULATION STATISTICS]
携帯電話利用者	Wireless Intelligence 各国累計携帯電話契約数データ
外貨準備高	Bloomberg 各国外貨準備高データ、財務省発表資料
新車販売台数	Bloomberg 米国新車販売台数データ、 社団法人日本自動車工業会データベース(四輪販売) 中国汽车工業会月次発表資料

われわれは、持続的な成長をより強固なものにし企業価値を最大化する一方、インターネットを中心とした事業を通して、すべての人に21世紀の新しい、豊かなライフスタイルを提供していくための、間断なき挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、われわれの夢と志を共有していただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年12月

ソフトバンク株式会社
代表取締役社長

孫正義



ソフトバンクグループ経営理念

デジタル情報革命を通じて、
人々が知恵と知識を共有することを推進し、
企業価値の最大化を実現するとともに
人類と社会に貢献する

連結業績のご報告

2009年4～9月期の業績ハイライト

- 売上が前年同期比2%増となったほか、営業利益は4～9月期ベースで4期連続の最高益更新となり、増収増益を達成しました。
- フリーキャッシュフローは、前年同期比1,649億円増の1,770億円となったことに伴い、通期予想を上方修正しました。
- 純有利子負債を、2008年9月末比3,023億円削減し、1兆7,685億円となりました。

営業成績



売上高は1兆3,492億円となり、2008年4～9月期と比較して2%増加しました。これは主に、移動体通信事業で携帯電話契約数の増加と、携帯電話端末の出荷台数が増加したことによるものです。

中核事業である通信関連事業*が堅調に推移し、4～9月期ベースで過去最高益を4期連続で更新しました。好調な移動体通信事業が主に増益に貢献したほか、全事業セグメントで継続的な経営の効率化が実を結んでいます。2009年度通期の営業利益予想は、前年度比608億円増の4,200億円です。

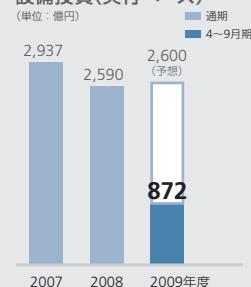
*移動体通信事業+ブロードバンド・インフラ事業+固定通信事業

当期純利益は前年同期比72%増の707億円で、4～9月期ベースで過去最高となりました。

設備投資

2009年4～9月期の設備投資（実行ベース）は872億円となりました。2009年度通期の設備投資額は、データ通信の需要増に備え、当初計画の2,200億円から400億円増額し、2,600億円を計画しています。

設備投資(実行ベース)



財務状態

純有利子負債 (単位：億円)



純有利子負債を順調に削減しており、2009年3月末比で1,709億円削減、2008年9月末比では3,023億円削減しました。これは主に、堅調な移動体通信事業を背景に、フリーキャッシュフローが大幅に増加したことによります。

自己資本／自己資本比率 (単位：億円／%)



自己資本は2009年3月末比690億円増加しました。自己資本比率は10.2%となり、ポータフォン日本法人買収以降初めての2けた台となりました。今後も事業から生まれる利益を最大化することで、さらなる自己資本比率の改善を目指しています。

キャッシュフロー

フリーキャッシュフロー (単位：億円)



営業キャッシュフローが前年同期比1,381億円増(78%増)となったことが貢献し、フリーキャッシュフローは前年同期比1,649億円増と大幅に改善しました。これに伴い2009年度通期の業績予想を2,500億円から500億円上方修正し、3,000億円としました。

セグメント別営業概況

移動体通信事業 携帯電話サービス



2009年4～9月期のトピック

- 夏商戦向け新機種として5月に19機種61色を発売。
- メールで届いた動画コンテンツを簡単に利用できるサービス「選べるかんたん動画」が好調。7月には契約数が100万契約を突破。
- 4～9月期の純増契約数が業界No.1*1となったほか、四半期ベースでも10四半期連続業界No.1*1に。

*1. 電気通信事業者協会の統計資料を基に当社算出

ブロードバンド・インフラ事業 ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」/ IP電話サービス/ IP放送サービス



2009年4～9月期のトピック

- 「Yahoo! BB ADSL」の2009年9月末の累計接続回線数は404万回線に。
- 「Yahoo! BBホワイトプラン」「ソフトバンクケータイセット割引」の提供により、移動体通信事業とのシナジーを創出。

固定通信事業 「おとくライン」を中心とした固定電話サービス/ 「Etherコネクト」などのデータ伝送サービス



2009年4～9月期のトピック

- 「おとくライン」を主軸とした法人ビジネスが堅調。「おとくライン」の2009年9月末の回線数は165万回線に。
- 「ホワイトオフィス」「ホワイトライン24」などの法人向けFMC*2サービスを拡販するなど、法人顧客向けソリューションビジネスを強化。

*2. 固定通信と移動体通信の融合

インターネット・カルチャー事業 ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」の運営／「Yahoo!オークション」などの電子商取引／インターネット上の広告



2009年4~9月期のトピック

- 2008年度まで固定通信事業に属していたソフトバンクIDソリューションズがヤフーと合併したことなどにより、ビジネスサービス事業の売上高が増加。
- 会員特典の拡充を図った結果、「Yahoo!プレミアム」会員ID数は過去最大の750万ID(2008年9月末比4.5%増)に。また「Yahoo!パートナー」「Yahoo!ゲーム」などの有料コンテンツが好調。

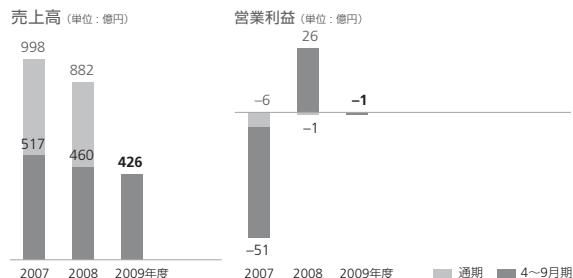
イーコマース事業 パソコン本体や周辺機器などの流通／電子商取引事業



2009年4~9月期のトピック

- 「SoftBank SELECTION」^{ソフトバンク セレクション}の商品数、取扱店舗数が増加し、販売が拡大したものの、景気低迷に伴う法人向け売り上げの減少などにより減収に。
- 通信回線と組み合わせた法人向けサービスを強化し、通信関連事業とのシナジーを追求。

その他の事業 テクノロジー・サービス事業／メディア・マーケティング事業／海外ファンド事業／その他



すべての人に豊かで安心な暮らしを

ソフトバンクグループが目指すのは、携帯電話やインフラ、ポータルサイトや多彩なコンテンツによる、「楽しい」「かっこいい」だけではありません。インターネットが普及することですべての人の暮らしがより「豊か」で「安心」なものになってほしい—「21世紀のライフスタイル・カンパニー」として、ソフトバンクグループはさまざまな事業を通して、たくさんの「幸せ」をつくりだしてまいります。

サイバー大学「e-カレッジ」で生涯学習

提供: 日本サイバー教育研究所

すべての授業をインターネットを使って行う日本で初めての大学「サイバー大学」は、2009年4月、インターネットとパソコンを使って誰もが手軽に生涯学習を始められる“サイバー大学エクステンションセンター「e-カレッジ」”を開講しました。サイバー大学は2007年4月の開学以来、各分野で第一人者として活躍する人材を教員に招き、多彩で魅力的なテーマを扱う教養科目を開講しています。「e-カレッジ」では、これらの講義から知的好奇心を満たす厳選されたプログラムが一般公開されており、年齢や居住地、時間を問わず、誰もがいつでも楽しくさまざまな講座を学べます。

開講コースのご紹介

「1科目でもコース」では、テレビでお馴染みの立川談志さんや荒俣宏さんなど、各分野の第一人者として活躍する教員による教養科目など全コース25科目（2009年11月1日現在）の中から、学びたい科目だけを1科目から受講できます。その他、吉村作治学長の講義をセットにした「吉村作治のエジプト学コースI」、22科目の教養科目をセットで受講できる「サイバー大学 教養がっちりコース」があります。開講科目は今後も順次増える予定です。

注目の講座

立川談志
「落語と文化・文明論」



荒俣 宏
「博物学」



お問い合わせ
電話: ☎ 0120-934-074(受付時間 10:00~19:00 平日のみ)
メール: e-college@cyber-u.ac.jp ウェブサイト: <https://ext.cyber-u.ac.jp/>

生活サポートサービス「BBライフ」

月額525円で快適、おトクな生活をお手伝い

提供: ソフトバンクBB 協力: ベネフィット・ワン

2009年10月、ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」の利用者*2向けにお得な会員特典サービスを提供する新しい生活サポートサービス「BBライフ」を開始しました。「BBライフ」は、月額使用料525円(税込)で、「旅行」「グルメ」をはじめとする各種サービスを優待価格で利用できる「ライフサポートサービス」や、国内外の宿泊施設で割引を受けられる「宿泊優待サービス」など、合わせて14カテゴリ、11万件以上の優待サービスが利用できます。さらに、「BBライフ」加入者本人や家族の大切な記念日やお祝いの日には、特典サービスや無料プレゼントが贈られるなど、充実したサービスが受けられます。



「BBライフ」サービス カテゴリ一覧

「学ぶ」「グルメ」「育児・介護」「レジャー&エンターテインメント」「くらし」「健康」「リラクゼーション」「ファイナンス」「スポーツ」「お祝い」「ショッピング」「国内宿泊」「海外宿泊」「トラベルサポート」の計14カテゴリ

「BBライフ」は、初めて加入申し込みをする方を対象とした、月額使用料最大2カ月無料キャンペーンや、現在オープニング記念として、各種特典やプレゼントの提供を行っています。キャンペーンや特典に関する詳細は、以下のURLをご覧ください。

*2. 「Yahoo! BB ADSL」「Yahoo! BBホワイトプラン」「Yahoo! BB 光 with フレッツ」などの「Yahoo! BB」サービスのほか、「SoftBankブロードバンド サービス」利用の方も加入できます。

申し込み方法

「Yahoo! BB」「SoftBankブロードバンド サービス」契約時にオプションサービスとして申し込むか、「BBライフ」ウェブサイトより申し込みください。
「BBライフ」URL パソコン: <http://bblife.jp/> 携帯電話: <http://bblife.jp/m/>

もしものときにつながりあうために

「災害用伝言板サービス」

提供: ソフトバンクモバイル

「災害用伝言板サービス」は、地震や台風・集中豪雨などの大規模災害発生時に、通信料無料*3でYahoo!ケータイの「災害用伝言板」に安否情報を登録できるサービスです。登録された情報は、ソフトバンク携帯電話からはもちろん、インターネットを通じて他社携帯電話やパソコンからも確認することができます。また、あらかじめ設定した家族や友人のメールアドレスに、安否情報が登録されたことを自動送信する機能もあります。

また、利用している携帯電話会社にかかわらず横断的に安否情報が検索できるサービスを、2010年春の開始を目指して、携帯電話・PHS事業者5社が協力して開発を進めています。ソ

フトバンクはこれからも、携帯電話サービスによって安心できる暮らしをサポートします。

*3. 世界対応ケータイでのアクセスには通信料がかかります。お知らせメールからアクセスする最初のページは通信料がかかります。

利用方法

ソフトバンク携帯電話から: 「Yahoo!ケータイ」トップ画面→「災害用伝言板」
他社携帯電話・パソコンから: <http://dengon.softbank.ne.jp> (安否情報の確認のみ可能)
毎月1日と15日、および防災週間(8/30~9/5)、防災とボランティア週間(1/15~1/21)、正月三日(1/1 正午~1/3 午後11時)は体験サービスが試用可能。



画面はイメージです

ソフトバンクなら見つかる、自分色

ソフトバンク携帯電話の2009年冬から2010年春までのラインアップが発表されました。

先進的な機能を追求するだけでなく、お客さま一人一人の暮らしや

ニーズにフィットするバリエーション豊かなモデルをそろえました。

今回は、「カラー」にこだわった2つのモデルを紹介します。

COLOR LIFE

SoftBank 840P

(パナソニックモバイルコミュニケーションズ製)



FEATURE 1

豊富なカラーバリエーション

2つのモデルの特長は何と言ってもその豊富なカラーバリエーションです。COLOR LIFEには15色、Jelly Beansには7色のバリエーションをそろえました。お客さまの個性にぴったり合う、好きな色を選べます。

Jelly Beans

SoftBank 840SH

(シャープ製)



FEATURE 2

シンプル&使いやすい

毎日使う携帯電話だからこそ、シンプルで上質なデザインを追求しました。

また機能面では、画面の見やすさ、ボタンの押しやすさ、よく使う機能をワンタッチで呼び出せる便利な機能など、使いやすさに徹底的にこだわりました。

FEATURE 3

買うときも楽しい

店頭でお買い求めいただくときから楽しいケータイライフが始まっています。COLOR LIFEはカラーにあったモチーフが印刷されているパッケージ、Jelly Beansはポップなキャラクターが印刷されているパッケージ。どちらもずっととっておきたくなるデザインです。

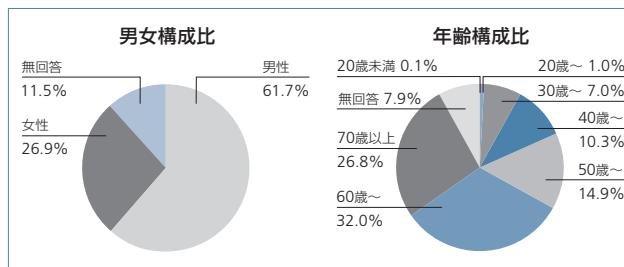
※上記2機種は開発中のため、仕様変更となる可能性があります。

株主アンケート結果のご報告

ソフトバンクは株主・投資家の皆さまに向けて、よりタイムリーで確かな情報開示を心掛け、積極的なIR（投資家向け広報）活動を展開しています。株主の皆さまの声を今後のIR活動に生かし、さらにコミュニケーションの質を高めるため、1年に1度、株主アンケートを実施しています。「株主通信 Vol.6」で実施したアンケート結果から、その一部をご報告します。

アンケート実施期間：2009年6月下旬～2009年9月末日
有効回答者数：11,266件（回答率3.08%）

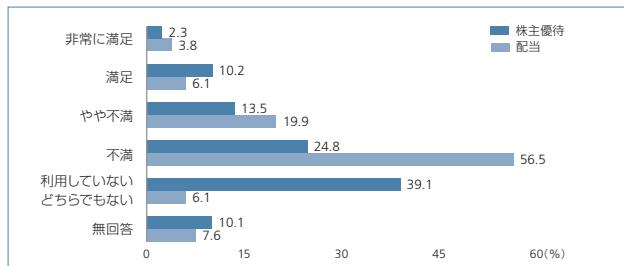
ご回答いただいた方の属性



「株主通信 Vol.6」で興味を持たれた記事は何ですか。(複数回答可)

トップ5コンテンツ	割合
1 株主の皆さまへ	28.0%
2 特集：インターネットカンパニーとしてのさらなる成長に向けて	27.3%
3 連結財務諸表	21.4%
4 2008年度ビジネスハイライト	15.0%
5 会社概要	14.4%

配当・株主優待制度について、ご意見をお聞かせください。



寄せられたご意見

- 孫社長に惹かれて株を保有しています。ウェブサイトなどをうまく活用して、孫社長のビジョンをもっと知りたい。
- 借入金が多すぎるのではないのでしょうか。／負債削減方針の話は安心しました。
- 今後も既成概念を打ち破って、インターネット業界をリードして欲しい。世界戦略にも期待しています。

寄せられたご意見

- 株主優待をもっと使いやすいものにして欲しい。優待は利益を株主に還元するためのものではないのでしょうか。
- 配当を増やして欲しい。

フリーキャッシュフローを重視した経営をさらに強化することで、純有利子負債の削減・株主還元強化を語った「株主の皆さまへ」と併せて、インターネットカンパニーとしてのモバイルインターネットコンテンツに関する取り組みを取り上げた「特集」にも注目していただきました。

多くの株主の皆さまが、弊社の株主還元のあり方に不満を持たれていることがわかります。こうした声に対応して、配当に関しては、2009年度に増配することを視野に入れていきます。今後も純有利子負債の半減を目標とする2011年度、ゼロを目標とする2014年度に、さらなる増配を目指します。ソフトバンクは今後も株主の皆さまの声に耳を傾け、企業価値の最大化に努めていきます。

3回目のアンケートとなる今回も、多くの株主の皆さまからの貴重なご意見をいただくことができました。中には厳しいご意見もございましたが、真摯に受け止めて今後のIR活動に生かしていきます。ご協力ありがとうございました。

このページでは、株主の皆さまからのご質問にお答えします。

Q 純有利子負債ゼロを目指しているが、本当に達成できるのか。現在の削減状況はどうか。

A 純有利子負債の削減は順調に進んでおり、2014年度に純有利子負債をゼロにすることが達成可能だと考えています。

純有利子負債の削減を進めていくための原動力であるフリーキャッシュフローに関して、当社は2008年度に2007年度比で3,000億円以上の改善となる1,815億円のフリーキャッシュフローを創出しました。2009年度においては、4～9月期で1,770億円を創出することができたことをかんがみ、当初の年度目標であった2,500億円から500億円上方修正し、3,000億円としました。今後もフリーキャッシュフローを重視した経営を一層強化していくことで、2009年度から2011年度までの3年間累計フリーキャッシュフロー1兆円以上の創出を見込んでいます。そして2009年3月末で約1.9兆円あった純有利子負債を2011年度には半減、2014年度にゼロにすることを達成可能だと考えています。なお、2009年9月末の純有利子負債残高は1兆7,685億円で、2008年9月末から3,023億円削減しています。

Q 純有利子負債の削減を進めている中、2009年4～9月期に1,550億円の社債を発行したが、どのような意図から発行したのか。

A 市場環境の好転に伴って、調達手段を多様化し、安定的な資金を確保するために発行したものです。また、調達した資金はすべて有利子負債の返済へ充当するため、純有利子負債削減の方針に変更はありません。

市場環境をかんがみて、2007年6月以降、弊社は社債の発行を見合わせてきましたが、2009年4～9月期に機関投資家向けに300億円（7月）、個人投資家向けに1,250億円（6月：600億円、9月：650億円）の社債を発行しました。これは、市場環境の好転を背景に、過去2年間銀行借入に偏りがちであった調達手段の多様化や、より長期安定的な資金を確保することを目的として発行したものです。なお、これらの社債により調達した資金は借入金の返済および社債の償還に充当する予定です。今後もフリーキャッシュフローを重視した経営を一層強化する方針であり、純有利子負債の削減方針に変更はありません。

純有利子負債削減方針（単位：億円）



会社概要

(2009年9月末現在)

社名(商号)

ソフトバンク株式会社
(英文社名)SOFTBANK CORP.

設立年月日

1981(昭和56)年9月3日

本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

資本金

1,887億3,432万9,101円

株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株

発行済株式総数 1,082,485,878株

株主数

333,004名

連結子会社数

110社

持分法適用会社数

63社

従業員数

146人(連結ベース21,784人)

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

取締役および監査役

代表取締役社長 孫 正義

取締役

宮内 謙

笠井 和彦

井上 雅博

ヤフー株式会社 代表取締役社長

ロナルド・フィッシャー

Director and President, SOFTBANK Holdings Inc.

ユン・マー

Chairman and CEO, Alibaba Group Holding Limited

柳井 正 (社外取締役)

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

村井 純 (社外取締役)

慶應義塾大学 環境情報学部長・教授

マーク・シュワルツ (社外取締役)

Chairman, MissionPoint Capital Partners, LLC

常勤監査役

佐野 光生

監査役

宇野 総一郎 (社外監査役)

弁護士

柴山 高一 (社外監査役)

公認会計士・税理士

窪川 秀一 (社外監査役)

公認会計士・税理士

- 本誌に記載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
 - iPhoneはApple Inc.の商標です。
 - iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
- 本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日

3月31日

定時株主総会

毎年6月

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先)

証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11

TEL: 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

証券コード

9984

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL: www.softbank.co.jp/kokoku/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

期末にかかる決済期間の変更について

東京証券取引所の規則が改正され、普通取引の権利付最終日は基準日等の4営業日前から3営業日前に変更となりました。本件に伴い、当社の第30期(2010年3月期)末における権利付最終日は2010年3月26日(金)、権利落日は2010年3月29日(月)となりますので、ご留意ください。

株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、住所変更や買い取り請求、その他の手続きは、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることになっています。株式に関する各種手続きについては、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取り扱い致します。
- 未受領の配当金については、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いします。

ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000

E-mail: sb@softbank.co.jp

www.softbank.co.jp

2009年12月1日発行

Copyright © 2009 SOFTBANK CORP. All Rights Reserved.

Printed in Japan

第2世代携帯電話をご利用の株主さまへ

ソフトバンクモバイルは2010年3月31日をもって、第2世代携帯電話サービスを終了させていただくことになりました。現在第2世代携帯電話をご利用の株主さまは、第3世代携帯電話にお取り替えいただき、引き続きソフトバンク携帯電話をご利用くださいますようお願い申し上げます。

第2世代携帯電話の見分け方

- 充電器の差し込み口の形状



丸いピンが2本あれば
「第2世代携帯電話」

- 機種名

SoftBank 502T、SoftBank 403SH、SoftBank 304T、
SoftBank 201SH

[Vodafoneロゴ]

機種名の最初の数字が6・5・4・3・2で始まる機種(例: V603T)

[J-PHONEロゴ]

全機種(デジタルホン各社、デジタルツーカー各社も含みます)

お取り替え方法

全国のソフトバンクショップやソフトバンク機種変更取扱店、ソフトバンクオンラインショップで「お取り替え」の旨をお申し出ください。料金および特典などに関するお問い合わせは、下記の相談窓口へお問い合わせください。

お問い合わせ

お取り替え相談窓口 **0800-111-2300**

[ソフトバンク携帯電話・一般電話から通話料無料]
(受付時間 9:00~20:00)

「メールマガジン ソフトバンクニュース」は、

www.softbank.co.jp/mail/

からお申し込みいただけます。



再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。